

健康くさつ 2 1 (第 2 次) の進捗について 重点施策

重点施策 1) 糖尿病の発症予防と重症化予防の推進

糖尿病の発症予防と重症化予防の取り組みは、血管を守る取り組みであり、高血圧や脂質異常症等生活習慣病の予防にも寄与するものです。市民の健康増進とともに医療費の低減にもつながることから、正しい知識の普及や生活習慣の改善に向けた各種の周知啓発をさらに進めること、医療と連携し、健診による疾病の早期発見・早期治療、保健指導の実施率の向上、さらに疾病がある場合には重症化予防に向けての取り組みを進めていきます。これらを計画的にすすめるため、糖尿病対策ガイドラインを策定し推進します。

重点的に取り組む指標目標

◎糖尿病有病者の増加抑制…国民健康保険特定健診受診者のうち有病者を指標として増加抑制を図ります。

数値目標項目	策定時 (平成 23 年度)	中間評価時 (平成 28 年度)	現状値※ (令和元年度)	改定目標値 (平成 35 年度)
糖尿病有病者※ ¹ の増加抑制 (国保特定健診受診者)	9.9%	11.6%	11.0%	増加抑制

※1 国民健康保険特定健康診査受診者のうち、糖尿病有病者である人の割合

※2 確定値(最新)

重点施策 1 の取り組み例 (担当課)	令和元年度実績	令和 2 年度実績
特定健康診査の受診勧奨 (保険年金課)	7 月 7,400 通 9 月 9,350 通 1 月 7,015 通 電話勧奨 2,148 件	9 月 9,555 通 電話勧奨 1,188 件
特定健康診査の実施 (保険年金課)	39.3% (受診者 6,241 人/対象者 15,887 人)	33.7% (受診者 5,349 人/対象者 15,887 人)
特定保健指導の参加勧奨 (健康増進課)	通知送付 557 人 電話勧奨 535 人	通知送付 498 人 電話勧奨 448 人
特定保健指導の実施 (健康増進課)	【平成 30 年度実績】 33.1% (実施者 228 人/ 対象者 689 人)	【令和元年度実績】 22.1% (実施者 139 人/ 対象者 628 人)
糖尿病のハイリスク者および 医療中断者への受診勧奨 (保険年金課)	訪問 14 人 健診受診 3 人、医療機関受診 1 人	訪問 23 人 健診受診 3 人、医療機関受診 4 人
隣保館の健康相談 (地域保健課)	実施回数 144 回 延べ人数 1,975 人	実施回数 137 回 延べ人数 1,399 人
栄養相談・生活習慣病相談 (健康増進課)	延べ人数 21 人	延べ人数 21 人

成果

- ・特定健康診査では、対象に応じた糖尿病予防啓発のリーフレットの配布や生活習慣病相談・健康教室を実施し、糖尿病の発症予防に取り組みました。
- ・健診結果から糖尿病のハイリスクと思われる人、または医療中断者に対し、訪問等による受診勧奨を行い、健診受診や治療開始につなげたことで、糖尿病の発症予防と重症化予防に寄与できました。
- ・特定保健指導では、対象者が日々の血圧や体重等の値を振り返ることができ、自分の身体の変化に気づく等改善の意識づけに繋がりました。

課題

- ・糖尿病発症予防のため、引き続き、特定健康診査、特定保健指導の参加利用を促し、自身の健康状態を知ること、生活習慣を振り返る機会が必要です。
- ・糖尿病の重症化予防のため、医療中断者への受診勧奨が必要です。

令和 3 年度の取組

- ・引き続き、個別、集団健診を実施し、より健診を受けやすい環境づくりに取り組みます。
- ・生活習慣病の早期介入として、40 歳代に対するアプローチを継続すると同時に、65 歳以上の前期高齢者に対し、介護予防を目的としたアプローチを実施することで、健康づくりのための取組を一体的に推進します。
- ・糖尿病の発症予防のため、国保対象者の受診勧奨に加え、後期高齢者の医療中断者および未受診者に対する受診勧奨を実施します。

◇重点施策2) 子どもの頃からの健全な生活習慣の確立

子どもの頃からの健康づくりには、家庭、保育所等や学校、地域等みんなで行き届くことが必要です。具体的には、保育所等や学校等での食・運動など健康づくりの取り組みを引き続き推進していくとともに、妊娠期から子育て期までの切れ目のない相談支援により、安心・安全に子育てができるような施策の推進や、地域での食や運動の取り組みをすすめます。子ども自身が健康づくりについて学び、実践できるよう環境づくりを進めていきます。

◆重点的に取り組む指標目標

◎朝食を食べない子どもの率の減少…児童生徒を対象として朝食を食べない子どもの減少に取り組みます。

数値目標項目		策定時 (平成24年度)	中間評価時 (平成28年度)	現状値 (令和3年度)	目標値 (平成35年度)
朝食を食べない子どもの率の減少	小学5年生	2.1%	3.9% (46人/1,173人中)	3.6% (48人/1,348人中)	0%
	中学2年生	3.3%	6.2% (65人/1,050人中)	6.5% (66人/1,013人中)	0%

※「学校における食育の日の取組調査」結果で朝食を時々食べる、または食べない子ども（小学5年生、中学2年生）の割合

◆重点施策2の取り組み(担当課)

	令和元年度実績	令和2年度実績
保育園・幼稚園・認定こども園における保健指導(幼児課)	公立保育所・幼稚園・こども園で5回実施	公立保育所・幼稚園・こども園で5回実施
食育月間、食育の日の取組(スポーツ保健課)	20校/20校中	20校/20校中
草津市児童生徒歯と口の健康づくり推進事業(スポーツ保健課)	20校/20校中	20校/20校中
児童・生徒等健康診断事業(スポーツ保険課)	20校/20校中	20校/20校中
離乳食レストラン(子育て相談センター)	21回	15回

成果

- ・保育所・こども園等では、園児の実態に合わせて、手洗い・うがい指導、歯磨き、栄養、生活習慣病予防に関する必要な指導が行われ、子どもたちが自分の身体や健康について興味や関心を持つことができ、自分の生活に活かせるきっかけとなっています。
- ・食育月間等において、地域や保護者と連携した米づくり等特色ある食育について伝えることができました。
- ・離乳食レストランにて、離乳食時期のお子さんを持つ両親や家族に対し、家族全員が朝食を摂取することやバランスの良い食事を心掛けることの大切さをお伝えできました。

課題

- ・学年が上がるごとに朝食を食べない子どもが増えていることから、朝食の重要性について子どもの頃からの継続した啓発が必要です。

令和3年度の取組

- ・保育所・学校において朝食の重要性についての啓発を実施します。
- ・健康推進員による子どもを対象にした食育活動を推進します。

◇重点施策3) 働く世代の健康づくり

働く世代の生活習慣や健康状態は、子育て世代として子どもの健康や、自分自身が高齢となってからの健康にも影響します。自らの健康は自らがつくるという意識をもち、年齢や健康状態に応じて具体的な健康づくりの行動ができることが必要です。働く世代が所属する企業や団体、協会けんぽ等の被用者保険組合と連携した健康増進対策へのアプローチとして、健幸都市宣言の賛同を企業へ働きかけ、企業と連携した健康づくりの取り組みを進めます。また働く世代がよく利用する施設での健康づくりのイベントなど、健康への関心を高める取り組みも進めます。

◆重点的に取り組む指標目標◆

◎運動習慣者の増加…働く世代を対象に運動等を習慣とする人の増加を目指します。

数値目標項目		策定時 (平成21年度)	中間評価時 ^{※2} (平成27年度)	目標値 (平成35年度)
運動習慣者の増加 (30分・週2回 以上の運動を1年 以上継続している 人の増加) ^{※1}	20～69 歳男性	16.5%	23.0%	26.7%
	20～69 歳女性	13.0%	15.8%	23.8%

※1「滋賀の健康・栄養マップ調査」

※2「滋賀の健康・栄養マップ調査」は平成27年度が現段階では最新であり、現状値は令和3年度は数値なし。

◆重点施策3の取り組み(担当課)

	令和元年度実績	令和2年度実績
くさつ健幸ポイント制度、健康推進アプリ「BIWA-TEKU(ビワテク)」(健康増進課)	アプリ利用者2,182人 (紙版37人)	アプリ利用者2,764人 (紙版12人)
禁煙チャレンジ事業・禁煙相談(健康増進課)	1事業所 1人達成	相談なし
食と運動のヘルスチェックデー(健康増進課)	3回 参加者延べ2,617人	中止
歩こう会(スポーツ保健課)	11回 参加者708人	5回 参加者303人

成果

- 健康推進アプリ「BIWA-TEKU」は働く世代の健康づくりを始めるきっかけや健康づくりの継続性につながっています。
- 健幸都市宣言を行っている事業所等と連携し、禁煙したい人が禁煙できるよう必要な支援を行いました。
- 歩こう会の実施により、体力づくりの推進を図ることができました。

課題

- 青年期・壮年期の働く世代への啓発を効果的に行うため、事業所への働きかけや連携が必要です。
- コロナ禍を考慮し、市民が開催場所一か所に集まるイベントではなく、感染対策を講じ、密を避けた健康づくり啓発を考えて行う必要があります。

令和3年度の取組

- 「BIWA-TEKU」の啓発活動を行います。
- 新しい生活様式に合わせた方法で、働き世代、若者世代に向けた健康づくり啓発活動を実施します。
- 禁煙したい人のタイミングに合わせ、参加募集期間を設けず、年間を通じ参加しやすい事業を実施します。

◇重点施策4) 地域で取り組む健康づくり

市民が身近な地域での健康づくりに取り組めるような環境や仕組みづくりをすすめていくために、地域ごとの健康状態についての様々なデータを分析し、地域の健康特性等の情報提供を行います。まちづくり協議会などの地域の団体が地域の特性にあわせた健康づくりのサポーターの育成や、健康づくりの活動がしやすい環境づくりなどが行えるよう健幸宣言の実現に向けた、地域等の主体的な健康づくりの取り組みを支援します。

また、ライフスタイルや価値観が多様化するなかで、地域課題を解決していけるよう、協働のまちづくりをすすめます。

◆重点的に取り組む指標目標◆

◎健康推進員数の増加…地域で活動する健康推進員の増加を目指します。

数値目標項目	策定時 (平成23年度)	中間評価時 (平成28年度)	現状値 (令和3年度)	改定目標値 (平成35年度)
健康推進員数の増加	185人	180人	178人	205人

※健康推進員養成講座を受講し、修了後、地域で健康づくり活動をする健康推進員の人数

◆重点施策4の取り組み(担当課)	令和元年度実績	令和2年度実績
健康推進員養成講座(健康増進課)	8回 11人修了	7回 6人修了
健康推進員の現任研修(健康増進課)	8回 延べ369人参加	18回 延べ273人参加
認知症サポーター養成講座(長寿いきがい課)	38回 1,793人参加	11回 274人参加
いきいき百歳体操(長寿いきがい課)	122団体(うち新規5団体)、登録者2,452人	122団体(うち新規2団体)、登録者2,424人
草津歯(し)・口からこんにちは体操(長寿いきがい課)	96団体(うち新規8団体)、登録者2,016人	100団体(うち新規4団体)、登録者1,999人
転倒予防体操(長寿いきがい課)	59団体(うち新規2団体)	57団体(新規0団体)
脳活教室のリーダー養成(長寿いきがい課)	累計207人	累計222人、新規登録者15人
介護予防サポーターポイント制度(長寿いきがい課)	登録者59人、利用者51人	登録者57人、利用者45人

成果

- 健康推進員の増加を図ることはできなかったものの、毎年6～11人の市民の方が、健康推進員として地域で活動されています。
- 健康推進員が「血糖とコレステロール」「歯周病について」「かかりつけ医・薬局」「感染症」などをテーマに調理実習や講話等を行い、幅広い世代に対して健康づくりの啓発が実施できています。
- 町内会やサロン等に加え、事業所や学生への啓発を行い、認知症サポーターを養成することができました。
- いきいき百歳体操や草津歯口からこんにちは体操とあわせて、新たに転倒予防体操を取り入れる団体や、脳活教室のリーダー養成講座を受けた代表者が地域のサロン等に内容を取り入れるところも出てきています。

課題

- 養成講座は、コロナ禍開催を想定したオンライン開催を検討していく必要があります。
- いきいき百歳体操の団体数は市内を網羅してきていますが、地域によって偏りがあり、介護予防に参加したいが近くでの開催がないという地域があります。
- 各まちづくり協議会と市、関係団体が協働して地域の特性に応じた健康づくりの取組を進めていく必要があります。

令和3年度の取組

- 地域の健康特性や課題を地域の関係者と共有を図りながら、地域の特性に応じた健康づくりの取組を進めます。

◇重点施策5) 企業、団体、大学等との多種多様な協働による健康づくり

企業や団体の中には、組織に所属する人々の健康づくりだけではなく、自らの得意な分野を活かして、個人や地域の健康づくりへアプローチすることにより、新たなビジネスを生み出し地域貢献を行っているところがあります。こうした健康づくりの情報を共有し、多種多様な主体の協働による健康づくりの取り組みがすすめられるよう、様々な視点で健康を捉えて連携する仕組みづくりも必要です。

また、市民が日常的に健康づくりに関する情報に接することができるよう、市からの情報発信に加えて他機関、団体等との連携による情報発信を推進します。

◆重点的に取り組む指標目標◆

◎食品中の食塩や脂肪低減に取り組む飲食店の増加…外食栄養成分表示やヘルシーメニューの提供等、健康づくりに協力いただける飲食店等事業所の増加を目指します。

数値目標項目	策定時 (平成 24 年度)	中間評価時 (平成 28 年度)	現状値 (令和 3 年度)	目標値 (平成 35 年度)
食品中の食塩や脂肪低減に取り組む飲食店*の増加 (外食栄養成分表示店の増加)	3 店舗	3 店舗	11 店舗	増加

※県事業「しがの健康づくりサポーター」に登録している飲食店数 (各メニューのカロリー表示、ヘルシーメニューの提供、減塩、薄味、油控えめのメニューを提供する等に取組んでいる飲食店数)

◆重点施策5の取り組み (担当課)	令和元年度実績	令和2年度実績
禁煙チャレンジ事業 (健康増進課)	1 事業所参加	-
食と運動のカラダまるごとはかるデー (健康増進課)	3 商業施設	中止
食育の日の取り組み (健康増進課)	5 店舗	2 店舗
草津版ヘルスツーリズムの構築に向けた調査・検討 (企画調整課・商工観光労政課)	モニターツアーの実施 3回 参加者 36人	中止
食育推進事業「草津ベジランチ」 (健康増進課)	29 店舗	26 店舗

成果

- ・コロナ禍で密を避けるため、大型商業施設と連携した市民の方を集めるイベントの開催が中止となりました。
- ・「草津ベジランチ」では、あらゆる世代に野菜摂取量の増加と地産地消に興味を持ってもらうための啓発が実施できました。
- ・食育の日の取り組みは、啓発実施時期を明確にしたこと、また、展示のみの啓発だけではなく、対面した上で声かけを実施したことにより、短期間で効果的に食を通じた健康づくりを啓発することができました。

課題

- ・企業、団体、大学等と健康づくりの情報を共有し、協働による健康づくりの取組が必要です。

令和3年度の取組

- ・禁煙したい従業員を支援するため、事業所と連携し禁煙の取組を進めます。
- ・市内の飲食店と連携し、野菜の摂取量増加につながる取組を進めます。
- ・事業所、団体、大学等と連携し、健康づくりの啓発を進めます。